

指導計画 (部分・責任)

実習指導者

サインまたは㊦

実習生氏名

サインまたは㊦

20xx 年 ○ 月 ○ 日 (△)		場 所	ホール・遊戯室
主な活動 (題材)	リズムあそび (未就園児親子と 5 歳児)		実習 クラス (未就園児親子と 5 歳児 (15組と 20人)組 男児()名 女児()名 計(50)名
幼児の姿 (前日までの 幼児の姿)	未就園児と保護者と 5 歳児での取り組み。多方向からの関わりが生まれ、子どもの様々な育ちが見受けられる。未就園児保護者は、我が子の成長の見通しがもてることも予想される。	保育活動 のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 歳児と未就園児親子の交流 ・ 未就園児は自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。 ・ 5 歳児はいろいろな遊びの中で十分に体を動かす。 ・ ふれあいとリズムに合わせて明るく伸び伸びと動き、充実感を味わう。 ・ 異年齢の子どもたちの交流を通して、5 歳児には未就園児を思いやる心が育まれる。
時間	環境構成	予想される幼児の活動	保育者の援助・配慮
10:00 (導入)	【ホール・遊戯室】 ・ 危険な物がない空間で行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者のまわりに親子で集まる。 ・ 列車あそびで、まずは 5 歳児が 2 人組になりトンネルを作る。 ・ 列車になって友達と協力して十分に走り回る楽しさを味わう。 ・ 乳幼児に対して、思いやりの心をもって接する育ちが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動きやすい服装で行う。 ・ 転倒しないように素足で行う。 ・ 保育者のまわりに親子で集まるように伝える。 ・ 導入で、心と体を温める。 ・ しっかり動いているかを見守り、言葉をかける。
10:15 (展開)	【準備物】 ・ 音源 (スマートフォンのスピーカー) ・ タンバリン ・ ポンポン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好きな色のポンポンを 2 つ選んでもらう。 ・ リズムに合わせて動き、もっと動きたいと感じるようにする。 ・ 友達、未就園児親子と共に踊ることで、一体感を感じられるようにする。 ・ 手を合わせる、つなぐなどの動きから、相手に合わせる、思いやる気持ちが育つ。 ・ 輪になって互いの表情が見える状態から、一体感を感じ楽しむ。 ・ 歩く、弾む、跳ぶ、振る、回るなど様々な動きを楽しみ、体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ・ ポンポンを持って踊ることでワクワクする気持ちを抱き、意欲的に皆に向かって様々な動きをすることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無理はしないように言葉をかける。 ・ 親子、5 歳児が一斉に動き出すと混乱が予想されるため、5 歳児はトンネルを作ることで静止、親子が列車になって動くことから始め、安全配慮をする。 ・ わかりやすいように大きく、ゆっくりと動いて手本を見せる。 ・ 言葉をかけながら楽しそうに進める。 ・ 未就園児、5 歳児にも無理がない簡単な振り付けのダンスにする。 ・ 保育者のまねっこを楽しめるように進める。 ・ 笑顔であることを心がける。 ・ 手だけから足踏みなど、動きを徐々に増やしていく。 ・ 簡単な動きを繰り返し行う。 ・ 同じメロディーの部分は同じ動きにする。 ・ 対面のダンスから歩いて回りながらなど展開する。 ・ 終わりには親子と 5 歳児がしっかりと挨拶をする場面をつくる。
10:25 (まとめ)			
10:30			
自己振り返り・評価等	複合的な活動としての未就園児と保護者と 5 歳児という異年齢のリズムあそびは、異年齢と触れ合いながら、十分に体を動かし、充実感を味わうことができる。保護者から見た 5 歳児は、我が子の数年後の成長の姿として捉えることができる。リズムに合わせて体を動かすことを、親子で共に楽しんでもらうとともに、5 歳児からは自分よりも小さい未就園児に対して譲ってあげたり、言葉をかけたりという思いやりのある姿も見受けられ、異年齢により育まれる姿がある。全身の大きな筋肉を使い、簡単な振り付けでリズムに合わせて動くことで、十分に体を動かすことができていた。5 歳児と未就園児親子の動き出すタイミングをずらすなど、安全配慮が必要である。		